

事業所名 : 放課後等デイサービス あんずキッズ
 [山本・逆瀬川・伊丹教室]

【 支援プログラム 】

作成日 : 2025 年 1 月 15 日

法人（事業所）理念	● フレアコーポレーションは、住み慣れた地域で安心して暮らしていくお手伝いをすると共に、お客様の気持ちに寄り添いながら、その人らしく生き生きとした豊かで潤いのある日常生活をサポートしていきます。			
支援方針	● ご家族との連携を強化しつつ、興味や関心のある活動を企画し様々な体験を提供する中で、利用者のニーズや特性を理解しながら計画を作成します。また、定期的に見直しを行い、進捗を確認しながら支援を行います。			
営業時間	平日	9:00～18:00まで [山本・伊丹] / 12:00～18:00まで [逆瀬川]	送迎実施の有無	あり（宝塚市・伊丹市：各片道20分くらいまで。）
	休校日	9:00～18:00まで [山本・逆瀬川・伊丹]		

		支援内容
本人支援	健康・生活	● 運動の重要性：簡単に体を動かせるレクを通して、運動の楽しさを体験させます。 ● 身だしなみや身の回りの整理整頓：基本的な身だしなみや、自分の持ち物を整理する方法を教えます。 ● お友達との関わり方：遊びやグループ活動を通して、他者とのコミュニケーションを促進していきます。 ● 自己肯定感の向上：成功体験を積み重ねる事で、自己評価を高める支援をします。 ● 危険回避のための学び：交通ルールや身の回りの安全について教えます。
	運動・感覚	● バランス感覚を養う：トランポリン・バランスボール・平均台などを使って、バランス感覚を養う活動を行います。 ● リズム運動：音楽に合わせて体を動かすダンスやリズム遊びで、楽しさと運動を組み合わせます。 ● 視覚トレーニング：色や形を使ったゲームや絵本の読み聞かせ等を通じて、視覚的感觉を高めていきます。 ● 聴覚活動：音楽を聞いたり、楽器を使っての音の違いやリズム感覚を養います。 ● グループゲーム：チームで楽しむゲームを通して、社会性を養います。
	認知・行動	● 課題解決のトレーニング：簡単なパズルやゲームを通して、問題解決のスキルを養っていきます。 ● 自己管理の為に目標設定：短期・長期目標を設定しながら、達成に向けた具体的な計画を立てます。 ● グループ活動：チームでの遊びやゲームを通して、協力する事の大切さを教えていきます。 ● 積極的な声掛け：本人の努力等に対して、積極的な声掛けを行う事で自信を持てるようにします。 ● タイムマネージメント：時間の概念を理解する為に、時計（タイマー）を使った活動を行います。
	言語コミュニケーション	● 語彙力を増やす活動：絵本の読み聞かせや言葉遊び（しりとり等）を通して、語彙を増やしていきます。 ● 対話の練習：スタッフとの会話を通して、質問の仕方や応答の仕方を学んでいきます。 ● 会話のマナーを学ぶ：話し手と聞き手の役割を伝える事で、相手の話を聞く大切さを教えていきます。 ● 絵カードの活用：特に言葉の出にくいお子様に対して、絵カードを使った視覚的な支援を行います。
	人間関係社会性	● 会話の練習：挨拶や質問など、基本的なコミュニケーションを取る機会を設けます。 ● 感情の共有：日々日常の出来事や体験を共有する時間を設けて、相手の気持ちを理解する練習をします。 ● マナー教育：公共の場でのマナーやルールを教えていきます。 ● ルールの理解と遵守：遊びやゲームを通して、ルールを理解し、学ぶ事の重要性を教えます。 ● 自己評価の促進：本人の持っている強みや改善点を振り返る事で、自己理解を深めていきます。
家族支援	● 本人の利用時の様子や発達状況等を送迎時や面談の機会を通して、お伝えし共有していきます。 ● 家族の状況やニーズは変化していくため、定期的にフォローアップを行う事で、必要に応じて支援内容を見直していきます。	
地域支援・地域連携	● 地域連携の強化：利用する相談支援事業所や併用する放デイと情報共有しながら、支援の充実に向けて意見交換を行います。	
移行支援	● 日頃から学校と情報共有や意見交換を行う事で、必要に応じて支援内容等を確認していきます。 ● 日常生活に必要なスキル（料理・掃除・金銭など）を出来るだけ実践的に行い、移行後の自立に向けた準備をします。	
職員の質の向上	● 定期的な研修の実施：障がいに関する知識や支援技術等の研修を定期的に行う事で、職員の専門性を高めます。 ● ケース会議の実施：定期的にケース会議を開く事で、具体的な支援について話し合い、職員間の情報共有や課題の解決能力を高めていきます。 ● 資格取得の支援：資格取得に向けた支援を行う事で、職員の専門性を向上させます。	
主な行事等	● 季節に応じた行事：春（お花見等）・夏（夏祭りレク）・秋（ハロウィン関連のレク）・冬（クリスマス関連のレク） ● 運動：簡単な体操やゲームを通して体を動かします。 ● 料理体験：簡単な料理と一緒に作ります。 ● おでかけ体験：公園等に出かけて自然とふれあいます。 ● 農業体験：畑で野菜を育てて、収穫します。 ● クラフト体験：季節に合わせた工作を楽しみます。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あんずキッズ伊丹		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・適切な支援と余暇の活動	・余暇の過ごし方の自己選択と自己決定を促し、より良い空間作りを心がけている。	・子供たちの趣味、思考の変化を見逃さず多角的に精査しながら新たな活動プログラムの立案から実施につなげる。
2	・保護者との連絡を密に行い信頼関係を築き深く保つ事で子供一人一人の日頃の様子や変化に合わせた支援が出来る事。	・電話やメール、送迎時などに些細な変化も情報伝達し共通理解と情報共有する事でより良い支援につなげている。	・現状では導入していないツールも検討し保護者の方がやり取りしやすい選択をしていただけるようにしていく。
3	・保護者の方へSNSやメールなどを通して子供の日中の様子など発信している。	・SNSも個人情報には注意を払い発信している。	・現状以上の向上を図る取り組み等は検討してはいないが必要と需要に応じて改善していきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域交流と地域への情報発信	・地域交流する際の連携や準備が出来ていない。 ・職員の確保。 ・保護者の方には情報を発信しているが、地域へは文書では伝わりずらく写真では個人情報に繋がる為、中々発信には至っていない。	・現状では中々難しいが検討している。
2	・トイレが一つしかない為、何人も重なるとタイミングよく出来ない事がある。	・トイレが狭く一つしか無いのが課題。	・声を掛けるタイミングに時間差をつける等の工夫はしているが他の子供がトイレに行くのを見てトイレに行きたくなる子供がいる。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	あんずキッズ伊丹
------	----------

公表日 令和7年2月6日

利用児童数 28人

回収数 26

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	5			活動しやすいスペースだと思います。	引き続き快適な環境作りに取り組みます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24			2			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2			2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1			2		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25				1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	2			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	1				子どもの特性や発達に合った計画書を作成している。	引き続き適切な計画を立てていきます。
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	2			1		
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1			1	日々のプログラムが工夫されている。	より満足して頂けるようにプログラムを工夫していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	8		9	公園等で地域のお子さんと接する機会がある。	地域間の交流も検討していきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25				1		
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	6	7		8		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	2				連絡帳や電話、SNS等で日々の状況を共有している。	引き続き情報共有に努めていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	3			1	色々な相談事に対応してもらっている。	ご要望に応じて対応致します。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	2			1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	12		10		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3			2		
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24				2	連絡帳や電話、SNS等で対応してもらっている。	引き続き配慮に努めます。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	2		3	日々の活動の様子を定期的に発信されている。	個人情報の漏洩に注意し、引き続き発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	2		4		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	3		3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	1			支援員さん、お友達との関わり等、嫌がることなく安心して通えています。	引き続き安心できる環境作りに取り組んでいきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26				クッキング、外出など色々な活動があるので毎回楽しんで参加しています。	引き続き楽しみに通所して頂けるような活動を提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26				一人一人の特性に柔軟に対応してもらい、支援の成果も見られて満足していません。	引き続きご満足いただける支援の提供を心掛けていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	あんずキッズ伊丹		公表日		令和7年2月6日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		その日の来所人数に合わせてテーブルやイスの配置を変更してスペースの確保をしています。	なし
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		指定基準に加え、必要に応じて加配職員を配置しています。	なし
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	玄関からフロア内はバリアフリー化になっています。	トイレの前に段差がありバリアフリーになっていない点のみが課題。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		活動終了後に清掃を行っています。	なし
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		完全個室にはならないがパーテーション等で区切り個別活動が出来る空間を提供しています。	視覚からの配慮はされているが聴覚への配慮が課題。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	3	前日の内容や情報の共有を職員全体で行っています。	なし
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ご意見や保護者の意向とニーズに合わせて業務改善に努めています。	なし
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	日々、課題等は職員間で把握し意見を求め改善しています。	なし
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	今後、実施の有無を検討しています。	なし
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	社内研修や外部研修で資質向上に努めています。	オンライン研修等も活用し幅を広げていくように改善していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		社内全体で話し合い様々な視点から適切に支援プログラムを作成しています。	なし
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	7		各ニーズに合わせ多角的に分析しながら個別支援計画書を作成しています。	なし
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	支援に携わる職員全員で検討し、情報共有と共通理解を兼ね備えた上で個別支援計画書を作成しています。	なし
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		作成された児童発達支援計画書を職員間で把握し支援しています。	なし
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々、子供の変化や行動等を記録し確認しています。	なし
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインに沿って具体的な支援内容を設定しています。	なし
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎月の活動プログラムを事業所全体で話し合い立案しています。	なし
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		様々な経験が出来るようにプログラムを作成しています。	なし

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	6		個々のニーズに合わせた支援をしています。	なし
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		その日、来所する子供の細かい変化に伴い打ち合わせや確認を行っています。	なし
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	各記録や行動・口調の変化を話し合い情報共有しています。	なし
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		個別に情報を記録し確認と改善につなげています。	なし
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		PDCAサイクルを活用し課題と見直しの必要性を判断しています。	なし
24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5		毎日4つの基本活動を個別と集団に分けて複数組み合わせる支援をしています。	なし
25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		自己選択・自己決定を促し支援しています。	なし
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者が参加しています。	なし
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	関係機関と連携して支援を行えるように体制を整えています。	なし
28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		必要に応じて行っています。	必要に応じて改善していきます。
29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	地域の公園でまれに接する機会があります。	必要に応じて改善していきます。
30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や電話・メールなどで状況や課題について情報の共有と共通理解を図っています。	なし
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	特別な機会は設けていません	必要に応じて改善していきます。
32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校と保護者と自施設で情報の共有を密に詰めています。	必要に応じて改善していきます。
38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		必要に応じて情報共有を図っています。	なし
39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	必要に応じて対応しています。	なし

関係機関や保護者との連携

	40	【放デイのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	特別な機会は設けていません	なし
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		見学时、契約時共に説明を行っています。	なし
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		特別な機会は設けていないが、定期的に子供と保護者の意向などを送迎時等に確認しています。	必要に応じて改善していきます。
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		個々のニーズに合わせた支援内容を設定し説明を行い、同意を得ています。	必要に応じて改善していきます。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		出来る限りの対応と助言を行っています。	必要に応じて改善していきます。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	実施していません。	なし
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		迅速に対応出来るようにスタッフ間での体制を整えている。	なし
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		ホームページやSNS等で個人情報の漏洩に注意しながら発信しています。	なし
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		スタッフ全員で秘密厳守に努めています。	なし
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		連絡ノート、送迎時、電話、メールを利用して対応しています。	なし
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	実施していません。	必要に応じて改善していきます。
	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		出来る限りの対応と助言を行っています。	必要に応じて改善していきます。
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	各マニュアルの作成は行っておりスタッフ間の共有もしています。	保護者への周知は出来ていない為、必要に応じて改善していきます。
	53	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		避難訓練・消火訓練・通報訓練を年2回行っています。	必要に応じて改善していきます。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		事前情報や医療機関の診断書、家庭での過ごし方や状況等の細かい部分は保護者と密に情報を共有し確認しています。	必要に応じて改善していきます。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		全職員で周知し対応しています。	必要に応じて改善していきます。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	リスクヘッジとリスクマネジメントを念入りにスタッフ間で話し合いと意見を出し合い安全な空間作りに努めています。	必要に応じて改善していきます。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画に沿った特別な内容説明までは行っていないが安全確保に関する事は契約時に説明させていただいています。	必要に応じて改善していきます。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事業所全体で検討し再発防止に努めています。	既に解決済みの事案も必要に応じて改善していきます。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	研修を行い適切な対応に努めています。	必要に応じて改善していきます。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3	現在対象となる児童はいません。	なし